

令和2年度学校パワーアップ事業全体構想

荒川区立第七中学校

学校パワーアップのための基本方針・各事業内容		
<p>「連携と創造」に基づき、家庭・地域・諸機関・学校が一体となった教育活動を推進して知・徳・体 調和のとれた生徒の育成を行う。</p> <p>◎カリキュラムマネジメントの視点をもって教育課程を実施して、新しい学習指導要領の「主体的・対話的（協働的）で深い学び」を推進し、次の世代の人材育成の基礎を創る。</p>		
学力向上マニフェスト <ul style="list-style-type: none"> ○教師が育つ学校をつくる <ul style="list-style-type: none"> ①全教員に研究授業を実施させ、教育実践・研究を積んでいる大学教授級講師から指導を受け、指導力の向上を目指す。 ②若手教員の育成を進め、指導力の向上を目指す。 ③日々の授業を充実させ、学力の向上を目指す。 ○夢につながる主体的な学びを推進する <ul style="list-style-type: none"> ①グローバル・キャリア教育を推進し学習意欲を向上させる。 ②T G G 体験を通して、話すことを学ぶ機会にする。 ③学習内容の定着度を確認するため、家庭学習を充実させる教材を作成し、学力の向上を図る。 	創造力あふれる教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○学校・家庭・地域でスクラムを組んで子どもたちを育てる。そのためにも、地域の教育力を積極的に活用し、多様な視点で生徒を育成する。 ○体験活動を通してよりよい未来社会を築く <ul style="list-style-type: none"> ①和楽器奏者を招き和楽器に触れ、演奏をし、模範演奏を聴いて和楽器に対する関心意欲を高め、音楽授業を充実させる。 ②本物の落語を体験することで、伝統文化の素晴らしさを感じさせる。 ○良好な教育環境と体制を整える <ul style="list-style-type: none"> 本校の代表行事である合唱コンクールを声楽家の指導を受け、ホールを使用して演奏させる。 ○こころとからだの健全育成を図る <ul style="list-style-type: none"> 個に応じた指導を実現し想像力あふれる教育を推進する。 	未来を拓く子どもの育成 <ul style="list-style-type: none"> ○教育環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ボランティア部員を中心に、季節に応じた植栽を行う。 ○国際理解・伝統文化教育 <ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統文化に触れるとともに国際理解を深めさせる。 ○英語教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> N E A の指導を継続的に受ける。 ○地域連携 <ul style="list-style-type: none"> 本校の伝統になりつつある運動会でのソーラン節を、そろいの法被で披露することで、生徒や保護者、地域との一体感を深める。

令和元年度全国・東京都・荒川区学力調査に関する結果（平均正答率：%）

区学力調査（全学年）

	1年					2年				
	国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語
自校	70.5	57.4	64.3	52.1	58.9	71.4	64.5	62.6	57.5	63.5
区	69.8	61.2	69.0	56.2	60.9	67.5	60.1	56.3	53.7	58.1
区との比較	0.7	▲ 3.8	▲ 4.7	▲ 4.1	▲ 2.0	3.9	4.4	6.3	3.8	5.4
	3年									
	国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語
自校	68.8	54.4	61.3	55.5	66.4					
区	68.0	52.6	57.8	50.1	62.3					
区との比較	0.8	1.8	3.5	5.4	4.1					

都学力調査(2年)

	国語	社会	数学	理科	英語
自校	72.9	48.5	55.1	50.7	60.7
東京都	71.9	51.1	54.5	49.5	57.5
都との比較	1.0	▲ 2.6	0.6	1.2	3.2

全国学力・学習状況調査(3年)

	国語	数学	英語
自校	76	65	64
全国(公立)	72.8	59.8	56.0

※自校は整数、全国(公立)については小数で公表され、正確な差を導くことができないため比較については表記しません

令和2年度 学力向上マニフェスト

学校名 荒川区立第七中学校

事業名	取組の内容及び目標 (昨年度の区学力調査等の結果・分析等を踏まえて)
教師が育つ学校を創る	<p>【内容】区学力調査において、2・3年生は全て教科において本区平均を上回った。1年生は国語を除く4教科が本区平均を下回った。2・3年生については各教科で大学教授級の講師からの指導の成果と考えている。本年度も継続していく。</p> <p>【目標】区学力調査においては昨年度よりも3%向上させること、都・全国学力調査においては全ての教科・領域において平均正答率を上回ることが目標である。</p>
夢につながる主体的な学びを推進する	<p>【内容】本校の校内研修会講師を依頼している日本女子大学教授瀬尾美紀子先生が進められている研修会に、3名の教員を派遣し研修を深めさせるとともに、他校の実践を学ばせ、その成果を校内で共有し授業改善を進める。</p> <p>【目標】区学力調査においては昨年度よりも3%向上させること、都・全国学力調査においては全ての教科・領域において平均正答率を上回ることが目標である。</p>
あらかわ寺子屋	<p>【内容】第2学年第3学期にTGG体験をさせ、今まで学習した英語の振り返りをさせるとともに、NEAを活用して話すことについての関心意欲を向上させる。</p> <p>【目標】3年生において、英検・漢検において50%以上の生徒が3級に合格することを目指す。</p> <p>【内容】区・都の学力調査結果では英語はよい成果を収め向上している。2月以降の外国人英語講師を活用して、1月までの授業と同様に進め、今まで以上の学力の向上を目指す。</p> <p>【目標】区学力調査で昨年度よりも3%向上させること、都学力調査では全ての領域で平均正答率を上回ることが目標である。</p> <p>【内容】社会、数学、理科の学習プリントを用意して、授業での活用、家庭学習用として個に応じた学習、あらかわ寺子屋の学習に活用していく。</p> <p>【目標】準備したプリントを活用して、区学力調査では昨年度よりも3%向上、都・全国学力調査においては全ての教科・領域において平均正答率を上回ることが目標である。</p>
	<p>【内容】定期考查前の総復習、英検・数検・漢検の個に応じた指導を推進する。また、特に国語・数学・英語の習熟度の低い生徒を対象に個人指導を行う。</p> <p>【目標】3年生において、英検・漢検において50%以上の生徒が3級に合格することを目指す。</p>